

国分寺市でのペンシルロケット水平発射実験成功から60年の時を越えてつなぐ想い

私とペンシルロケット

ペンシルロケットの原点を 忘れず、挑戦の旅を進める

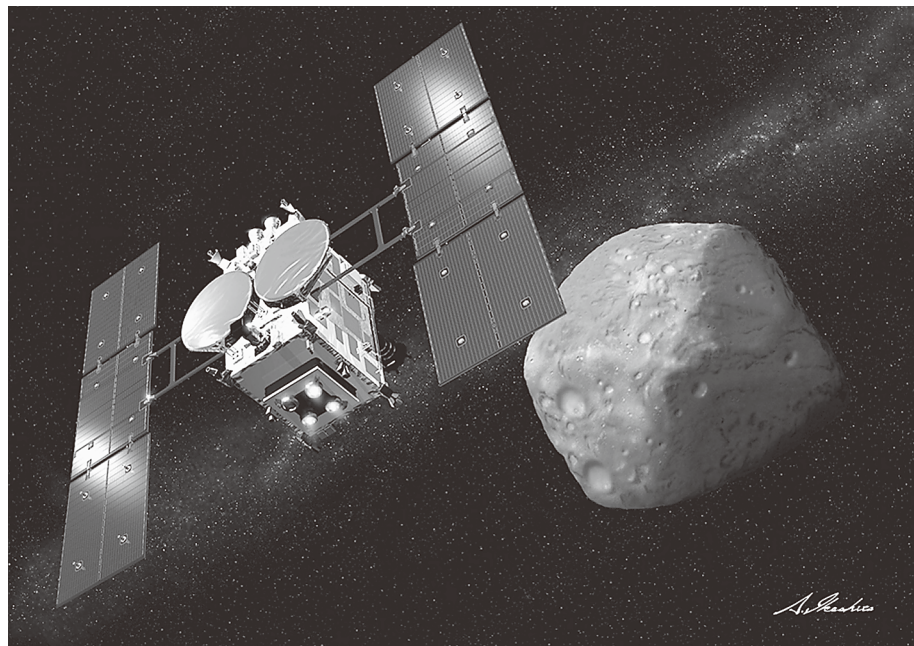
第7回 津田 雄一さん (小惑星探査機はやぶさ2
プロジェクトマネージャ)

ペンシルロケット水平発射実験を行った、糸川英夫博士を中心とした研究チームは、現在のJAXA宇宙科学研究所（ISAS）へと引き継がれています。水平発射実験は、上空の軌道を追うレーダーがなかったため、ロケットを水平に飛ばす「逆転の発想」で、貴重なデータを得ました。「こうだからできない」ではなく、「こうすればできる」という糸川博士の自由でリスクを恐れない精神は、現在もISASで息づいています。世界で初めて、月以外の天体に着陸し、サンプルを持ち帰った小惑星探査機はやぶさは、その精神の賜物といえるでしょう。

津田雄一さんは、はやぶさの打ち上げから運用に携わり、現在、地球と火星の間の軌道にある小惑星「Ryugu」（リュウグウ）を目指すはやぶさ2のプロジェクトマネージャとして、日々、挑戦を続けています。



はやぶさ2の地球スイングバイ・日陰（地球の影）通過ごろの運用管制室で（提供JAXA）



はやぶさ2は平成30年6月～7月に小惑星「Ryugu」（リュウグウ）に到着予定。約1年をかけて、小惑星と並行して太陽のまわりを周回する（イラスト池下章裕）

平成26年12月3日に打ち上げられた小惑星探査機はやぶさ2は、小惑星「Ryugu」（リュウグウ）に向けて航行を続けています。往復6年、約52億4千万キロメートルの壮大な太陽系往復飛行の旅です。月より遠い天体への往復航行を世界で初めて成し遂げた、はやぶさのスピリットを受け継ぎ、今ははやぶさ2が、月より遠い天体への世界で2番目の往復航行へ挑戦しているのです。

太陽系往復航行は、世界の宇宙探査ミッションの中では極めて珍しい方法です。それは、技術的に大変難しいからです。そして同時に、究極の宇宙技術と言ってもよいでしょう。目的地へ行くだけより、そこへ行き、着陸し、離陸し、そして地球へ還ってこれられることで、どれだ

け技術的な可能性、科学的な価値が広がることか。

糸川博士のペンシルロケットから始まった日本の宇宙探査。それは最先端をゆく米露（旧米ソ）からかけ離れた、とても小さな産声でした。しかし、その目は、誰よりも先を見ていました。ペンシルロケットは、太平洋を20分で横断する夢の旅客機を目指した研究でした。それが、日本初の人工衛星おおすみを生み出し、世界と伍してハレー彗星探査を実行したさきがけ・すいせい両探査機を生み出し、世界最大の固体燃料ロケットM-Vを生み出しました。

そして日本以外には、世界の誰も計画しなかった小惑星往復飛行の実現。21世紀の日本が、こんな挑戦をしているとは、きっと糸川博士も想像だにしない

は、誰も行ったことがない未知の天体です。だからこそ価値があるのですが、何が起ころうとも不思議ではありません。それをリースナブルなリスク^(*)で実行可能な計画に仕立てられたのは、ペンシルロケットから始まり、はやぶさ2まで受け継がれてきた「糸川スピリット」の賜物です。困難に遭った時、再び

挑戦の旅を進めます。

小惑星「Ryugu」（リュウグウ）への挑戦は、人類の未来への挑戦です。ペンシルロケットの原点を忘れず、私たちは

日本人の作った、たった600キログラムほど^(*)の小さな探査機はやぶさ2が、人類の可能性の最前線を押広げている。いつもそのことを胸に、私たちははやぶさ2チームは、日々探査機へ指令を送っています。

小惑星「Ryugu」（リュウグウ）への挑戦は、人類の未来への挑戦です。ペンシルロケットの原点を忘れず、私たちは

日本人の作った、たった600キログラムほど^(*)の小さな探査機はやぶさ2が、人類の可能性の最前線を押広げている。いつもそのことを胸に、私たちははやぶさ2チームは、日々探査機へ指令を送っています。

小惑星「Ryugu」（リュウグウ）への挑戦は、人類の未来への挑戦です。ペンシルロケットの原点を忘れず、私たちは

**ふるさと納税のお礼に
ペンシルロケットレプリカを
贈ります**

JAXA宇宙科学研究所共催・1,000機限定

■**申込書での申し込み**
市政戦略室までご連絡ください。申込書を郵送します。
※市HPからダウンロード可

■**インターネットからの申し込み**
ふるさとチョイス <http://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/13214> から
※右のQRコードからもアクセス可

★市内在住の方も申し込みできます
★寄附金額10万円（連続した2年で分割可）ごとに1機贈呈します
★確定申告またはふるさと納税ワンストップ特例制度の申請をすることで、寄附金控除を受けられます



→市政戦略室(内441)